

私のおすすめスポット

会員 笹川 澄子 （燕市小池在住）

平成 27 年 4 月に入会しました。桜の名所として幼いころから知っていた大河津分水をもっと深く知りたいという思いがあり加えていただきました。この度、事務局から本欄への寄稿の依頼がありました。よい機会ですので『信濃川補修工事の歌』について記したいと思います。平成 27 年 12 月 19 日、信濃川教養講座『萬代橋物語』（講師・近藤 淳氏・国土交通省北陸地方整備局新潟国道事務所所長）が開催され、引き続いて、忘年会が分水地区の割烹で催されました。この宴の最後で、『信濃川補修工事の歌』が事務局長・五十嵐晃氏によって披露され、併せて、本 NPO の懇親会等の最後にこの歌を皆で合唱することが提案されました。しかし、歌は何とも面白いメロディで、一度聴いた程度で覚えるのは難しいと思いました。隣の事務局担当・斎藤麗氏に訴えたところ、楽譜はないが歌のテープが存在すると教えていただきました。そして、大河津分水完工 60 周年記念『郷土の宝 大河津分水』（企画：建設省信濃川工事事務所、制作：映画『大河津分水』委員会）のビデオテープをお借りできるに至りました。この 30 分テープをデジタル（DVD）化し、これを基に私の音楽の師匠・内田勝彦氏（青森県八戸市在住、チェロ奏者・作曲編曲者）に採譜を依頼、次いで、浮かび上がってきた疑義点を二人で議論し、歌の楽譜として完成させました。下はその一部です（楽譜には、作詞：宮本武之輔、作曲：不詳、採譜・編曲：内田勝彦、監修：笹川澄子、を記しました）。ピアノ伴奏譜も一緒に作成しました。楽譜コピーを理事長、事務局長、歌に精通されている理事・解良節子氏、ビデオテープを提供していただいた斎藤麗氏にお届けしました（1 月 7 日付け）。

信濃川補修工事の歌

作詞 宮本武之輔
作曲 不詳
採譜・編曲 内田勝彦
監修 笹川澄子

(1) ここは ほくえーッ しなのーが わ なが
れも は - やき - ばんす - い - の す - えは いづ - ぐ - ぞ
そらび - まり (2) ごくかん みつき - は がぜあ - れ て にち

元歌が『朝鮮警備の歌』となっていて、日本にとどまらない近代世界史を感じました。本稿を作成中に元歌について情報を得ましたので、関連事項を詳細に調べていきたいと思っています。忙殺された仕事を終え任地から故郷に戻り、地域の皆様とようやく交流できるようになったと実感しています。

信濃川教養講座を開催 『萬代橋物語』

日時：平成 27 年 12 月 19 日(土)15:00～16:30

場所：大河津資料館 2F 多目的ホール 参加：43 名

講師：国土交通省北陸地方整備局 新潟国道事務所所長 近藤 淳 氏

大河津分水と同様に新潟を支え続けている萬代橋。その歴史や出来事を裏話も交えてお話していただきました。大河津分水とも深い関わりがある内容ということもあり、参加者も多く、皆さんの関心の高さが伺えます。その後に、近藤所長と同事務所の今さんも参加いただき忘年会を開催しました。参加者 32 名と例年よりたくさんの方に出席いただき、とても賑やかな楽しい会となりました。（事業部・事務局）



近藤 淳 事務所長

何か気になる 主任技師 後藤憲一

昭和 2 (1927) 年から昭和 6 (1931) 年までの信濃川補修工事と言えば、すぐに青山士と宮本武之輔の名前が浮かんでくる。しかし実際にはこの工事は所員 60 余名よりなる信濃川補修事務所の直轄工事であったことはよく知られている。その補修事務所員の中で、指導的な役割を果たしたのは主任、宮本武之輔である。その他に重要な役割を担ったと見られるのが 2 名、彼らは宮本と共に内務技師の官職である。

宮本を含む 3 名を改めて書き出せば以下のようなになる。

宮本武之輔 主任： 後藤憲一 設計係主任： 大塩政治郎 五千石工場主任

これら 3 名が補修工事の指導的存在であった筈である。その事は、後に補修工事の概要をこの 3 名の連名で土木学会誌に掲載していることから明らかである。

さてこの中で私の気がかりと言え、後藤憲一氏のことである。氏は大正 12 年東京帝国大学工学部土木工学科を卒業している。宮本の 6 年後輩にあたる。昭和 2 年着任当時卒業後わずかに 4 年、年齢おそらくは 26 歳である。補修工事における彼の業績としては、今でも資料館には設計図が数多く残されている。それらの 1 例をあげれば(図面番号 B-14 No66)_可動堰工可動堰構造一般図とか、きわめて重要な構造物の図面である。いずれの図面にも主任宮本の印とともに、設計製図の欄に後藤の印かサインが残されている。紙面の都合でそれらの図面をここにお見せできないが、綺麗な細い線で描いた緻密な図面であり、後藤の腕の確かさを語るものである。

この図面から見て、後藤の役割は宮本の右腕であったと考えられるが、その業績を記した記事はなかなか見当たらない。まして、後藤がどういう人物であったのか、補修工事の後にどのようなキャリアを積んだのか、あまりにも陽が当たらなさ過ぎではないか、と私は思う。資料館には 1 枚だけ執務中の後藤の写真が残されていて、その写真には誰かが「後の港湾局長」と書いてある。もう少し情報がないものか、と案じていたところ、先日東京大学工学部土木工学科同窓会の事務担当の赤池氏にお会いする機会を得た。昔の同窓会名簿に後藤氏の情報が残されていないでしょうか、と尋ねたところ、ご返事をいただいたので、以下にそれに基づく結果を示す。

昭和 6 年、彼は完成した補修工事を後に内務省に戻ったのであろう。そこから昭和 13 年までは情報がない。昭和 13 年日本が実効支配していた満州国に水力発電所を建設する工事所長として派遣される(満州国産業部水力電気建設局 鏡泊湖工程処長とある)。この年、宮本武之輔は政府の興亜院技術部長になり、外地へ派遣する技術者を採す役割をしていたようである。当然、彼が後藤を指名したのに違いない。この鏡泊湖水力発電所というのは、昭和 14(1939)年着工、昭和 17(1942)年発電開始という記事もある。氏はおそらくその後日本に戻られたのではない。氏の生年を明治 28(1895)年と推定すると、1960 年 65 歳で港湾局長の職を最後に公務員を退職し、大阪埠頭倉庫 KK 取締役社長となったのであろう。そして、1972 年 78 歳で逝去されたのではないかと。

氏の略歴について分かったところにより述べた。一体私はどこまで調べることができるのだろう、あるいはどこで満足すべきだろう。他に 60 余名の補修事務所の人達もいるのに。

今回一つの地点に辿り着いたと感じたのは、氏が鏡泊湖発電所にいたという情報に接した時だ。実は私は昭和 20(1945)年、この近くにいた。父は土木技師だった。もしも 45 年前に氏のことを知っていたら、お会いして当時のことを聴けたらと思う。

県外バスツアーに行ってきました！ ～大河津分水路水理模型実験施設見学会～

日時：平成 27 年 11 月 7 日(土)～8 日(日) 参加：36 名

行程：国土技術政策総合研究所「水理模型実験施設」→国土地理院「地図と測量の科学館」→懇親会・宿泊(つくば市)→霞ヶ浦歩崎展望台(かすみがうら市)→渡良瀬遊水地(栃木市)→利根川堤防決壊口跡・記念碑(加須市)

曇り空の下、水理模型実験施設へ。1/50 の分水路河口部模型の上に立ち実際に水を流し、どのような流れになるかワクワクしながら見学しました。今回訪れた地域は鬼怒川決壊地点に近く被災地を通して移動しました。まだ残る爪跡に被害の大きさを実感しました。渡良瀬遊水地は、あいにくの雨でせっかくの景色は全然見ることができず…。天候には恵まれなかったですが、楽しい旅でした。(事業部)



大河津分水路水理模型の上で記念撮影



柏崎原発サービスホール

第3回ガイド研修

日時：平成27年11月28日(土)8:30～17:00 参加：17名
 場所：新潟県立歴史博物館(長岡市)
 柏崎原発サービスホール(刈羽村) (事務局・支援部)
 歴史博物館では職員の山本さんの案内で普通は入ることができないバックヤードを見せていただき、原発では施設内をバスで周しながら、現在の状況などを丁寧に教えてもらいました。研修を終え、ガイドとしての心得を新たに学ぶことができました。

平成27年度川づくり団体全国事例発表会

平成28年1月29日(金)東京大学山上会館にて「川づくり団体全国事例発表会」(河川財団主催)が開催され26年度河川整備基金助成事業の成果として「信濃川大河津資料館友の会による啓発活動」が優秀事例に選ばれました。表彰式には小林清副理事長と小林恒男監事が出席。今回の受賞は大きな自信となり今後の活動の励みになります。



新コーナー 友の会通信

平成27年10月17日(土)に開催した第4回新潟県博物館等友の会ミーティング「ともの会議 in 大河津分水」の参加団体の紹介コーナーを今号から設けることになりました。
 記念すべき第1回は「なじょもん友の会(津南町)」さんです！

なじょもん友の会の活動

なじょもん友の会運営委員 石沢久和氏

当会は平成16年8月に開館した農と縄文の体験実習館なじょもんには先駆け同年4月に発足しました。

現在の会員数は家族会員、個人会員、子ども会員、賛助会員合わせ約130会員となっています。会員特典は、館が実施する各種体験料の50%引き、年2～3回の会報配布です。

役員は会長、副会長(2名)のほか約十名の運営委員がおり、月一回の運営委員会で活動方針の決定をしています。

27年度の主な活動は、4月の総会、8月盆踊り、9月焰祭、11月の小布施視察研修のほか、12月と2月の企画展です。

館のコンセプトは農業・食、民俗、縄文、クラフト、自然など多岐にわたるため、当友の会の活動も役員が面白いと思えば何でもありです。その一例が冬季の入館者数増を目的に実施するクリスマス展(クラフト作品展)とMyコレクション展(個人の蒐集品展示)です。館の主要テーマである縄文や民俗の枠にとらわれない企画展です。

館と友の会の関係性は共催の焰祭に現れています。館主導の収穫祭行事もありますが、ふんどし姿での神輿や敷地での焚き火やキャンプ泊など館が公の教育施設という枠では出来ない活動を、友の会が押し広げて実施しています。

停滞しがちな友の会活動ですが、役員自らが楽しむ活動を展開したいと考えています。

最後に大河津資料館友の会様の活発な活動に敬意を表すると共に、今後益々のご交誼をお願い致します。



「焰祭 穂麻良様神輿」



「Myコレクション展」

庭木の剪定を行いました



日時：平成 27 年 11 月 14 日(土)10:00～12:00 参加：10 名 (支援部)

天気が良くない中、10 名の方々に集まっていただき資料館敷地内の庭木の剪定を行いました。伸びた枝を切り落とし、冬に向けての作業が無事終了。皆さんありがとうございました。

イベント案内

第 2 回河川文化講演会

『3D で読みとく信濃川流域の地形』—その源流から河口まで—

今年度 2 回目となる河川文化講演会は講師に「大地の会」顧問をされている渡辺文雄氏をお迎えします。信濃川源流部から越後平野までの地形を 3D 画像の図写真を使って立体視できるしくみや、地形と災害について解説していただきます。赤青メガネで地形の凹凸を実感しながら聴くお話しは、新たな発見があるかもしれません。ぜひ、足をお運びください。(事業部)

講 師：新潟県越路「大地の会」顧問 渡辺 文雄氏

日 時：平成 28 年 3 月 12 日(土)14:00～15:30

場 所：信濃川大河津資料館 2F 多目的ホール 参加費：無料

定 員：50 名 (参加希望者は事務局までご連絡ください。)

締 切：平成 28 年 3 月 5 日(土) (申込状況によっては、お断りする場合もございます。)

事業部会・支援部会・広報部会

平成 28 年度活動計画を検討する部会を開催するので部会員の出席をお願いします。(事務局)

日時：平成 28 年 4 月 16 日(土)

9:30～11:30

場所：信濃川大河津資料館 2F 多目的ホール 他

※参加可否を事務局までご連絡ください。

お花見しませんか？

恒例のお花見会を開催します。皆様のご参加をお待ちしています。(事務局)

日時：平成 28 年 4 月 16 日(土)

12:00～(雨天中止)

場所：大河津分水公園 会費：1,000 円

※参加希望者は事務局まで。

お茶を楽しむ会

おいらんど中開催日と同日に、大河津資料館ではお抹茶とお菓子を無料で振舞います。桜並木を見ながら一服いかがですか。この機会に、どうぞお越しください。(事業部)

日時：平成 28 年 4 月 17 日(日)10:00～無くなり次第、終了(500 名ほど)

場所：信濃川大河津資料館 4F 展望室 ※事前申込み不要。直接会場へお越しください。

平成 28 年 第 1 回理事会

平成 28 年度第 1 回理事会を開催します。理事・監事の方の出席をお願いします。(事務局)

日時：平成 28 年 5 月 7 日(土)

10:00～12:00 (監査)

13:30～15:30 (理事会)

場所：信濃川大河津資料館 2F 多目的ホール

平成 28 年度 年次総会

平成 28 年度年次総会を、下記の通り開催します。(事務局)

日時：平成 28 年 5 月 14 日(土)14:00～

場所：大河津出張所 1F ホール

※詳細は別途お知らせします。

平成 28 年 県外河川探訪バスツアー ～狩野川放水路と青山士の生地を訪ねる～

昨年、宮本武之輔交流事業で愛媛県へ訪れたので、今年は青山士の生誕地へ行こうと提案が出ました。ということで、来年度の県外バスツアーは静岡県に決定。お楽しみに！(事業部)

日時：平成 28 年 6 月 17 日(金)～18 日(土) (予定) 会費：1 人 20,000 円程度

定員：35 人程度 ※詳細が決まり次第、後日別途お知らせします。

◀編集後記▶ ◆今年度の信濃川・大河津分水写真コンテストの受賞作品が決定し、応募総数 256 点の中から 4 部門 24 作品が選ばれました。魅力あふれる作品は、大河津資料館 1F 休憩室に展示してあります。ぜひ、足をお運びご覧ください。◆手探りながらも無事に年度最終号発行に至りました。来年度は更に面白い紙面にできるようがんばります!! (E)

<事務局連絡先>

〒959-0123 燕市大川津 1215-7

TEL 090-2673-6596(事務局長)

080-9876-3683(事務局)

FAX 0256-97-3682

e-mail

ohkouzu_tomonokai@yahoo.co.jp

<https://www.facebook.com/ohkouzuTOMO/>

